

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	加東市役所			代表者名	市長 岩根正
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	産業振興部農地整備課	連絡先電話番号	0795-43-0519
担当者役職	主査	担当者氏名	近藤 良紀	連絡先E-mail	
住所	673-1493 兵庫県加東市50番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	農林水産省(農山漁村振興交付金及び土地改良事業)
概要	①営農者向けのスマート農業の研修 ②市職員向けの行政・地域DXの研修		
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 農林水産業		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	219	令和6年10月21日	事前打合せ	オンライン
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年11月1日	事前打合せ(オンライン)	9時00分	11時00分	20
				活動時間(分)	100
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	澤出 剛治
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	①スマート農業実施予定地域のニーズや背景について把握し、講演内容に関して具体的な提案があった。 ②当市の依頼事項に対して、的確にお応えいただき、かつ、講演内容に関し具体的な提案があった。また、当市のDXの推進状況についても丁寧にヒアリングを実施され、当市の状況に応じた講演内容を検討されていた。
アドバイザーへの要望事項	

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】		合計人数	6人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	4	1	1	

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	①営農者向けのスマート農業の研修 スマート農業の普及が乏しい地域のため、スマート農業の理解度に個人差があるため、理解度の底上げを行いたい。 ②市職員向けの行政・地域DXの研修 農業分野については、支援を受けながら、農業者の担い手不足の解決に向け、自動運転技術の活用等を含めた地域社会DXの取組が大きく進もうとしている。一方で、産業、交通、防災その他の分野については、農業分野と同様に地域課題が存在しているはすが、現時点において課題が明確になっていないことに加え、市全体で地域社会DXに取り組むという機運が醸成されていない。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	①営農者向けの講演会を実施していただき、地域住民がスマート農業の知識を行い、スマート農業普及のきっかけとする。 ②先進地や導入事例等をご講演いただくことで、市職員内で地域社会DXに取り組んでいくという機運を醸成し、地域課題を明らかにするきっかけとすること。

<p>アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)</p>	<p>①(1) スマート農業の講演会の概要について協議し、次のとおり決定した。 日 時：12月1日(月) 13:30～14:30 内 容：次の内容についてご講演いただく。 ①スマート農業とは(写真や動画を交え事例を紹介する) ②スマート農業を導入するメリットやデメリットの説明。 ③効果を最大限に発揮するポイントや考えるの説明 参加者：スマート農業実施予定地域の住民</p> <p>②(1) 庁内での講演会の概要について協議し、次のとおり決定した。 日 時：12月2日(月) 10:00～11:30 内 容：次の内容についてご講演いただく。 ①スマート農業の取組状況 ②行政における地域社会DXについて 参加者：希望する職員 ※加東市議会定例会の初日に当たるため、幹部職員(課長級以上)の職員が難しいと想定される。</p> <p>(2) 加東市のDXの取組状況に係る情報共有</p>
<p>支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)</p>	<p>市職員・地域住民の意識を向上ため、既に知見をお持ちのスマート農業に関する事例に加え、最新の地域社会DXの活用事例について、具体的にお話しいただくこととした。</p>
<p>具体的な成果物</p>	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 実施形態と内容の決定。取組内容のイメージの共有</p>
<p>改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)</p>	<p>①講演内容の詳細 ②講演内容の詳細</p>
<p>アンケートの内容と分析結果</p>	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は事前打合せのため、アンケートの実施はなし。</p>
<p>4-3. 今後の計画</p>	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい ②次年度に予算化を図り推進する 引き続き今年度支援を数回受け、次年度以降の予算化を図る。</p>
<p>4-4. 事業の最終的な目指す姿</p>	<p>①本制度を活用し、地域住民へのスマート農業の理解を深め、ICT技術の整備へつなげる、維持管理労力の軽減、生産性向上を図ることにより、地域農業の持続的な農業経営の実現させる。実現させることによって、担い手不足の解消、耕作放棄地の減少、美しい田園風景の維持、地域コミュニティ持続・強化、地域の魅力創出につなげていくこと ②地域における課題に対し、デジタル技術を活用しながら地域課題の解決を目指し、生活利便性やまちの魅力を向上させること。</p>

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可 掲載可

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

